

きとう

江東区議会議員

鬼頭 たつやの



江東区政REPORT 2012 Vol.2

街の御用聞きの報告書



発行人 **みんなの党** 江東区議会第3支部

平成24年1月1日発行

〒135-0047 江東区富岡1-8-13 TEL 03-3641-2666 FAX 03-3642-9658 HP www.kitoutatsuya.com

第1番目の質問項目

江東区における都市型水害対策の充実について

昨 今の地球温暖化やヒートアイランド現象により、都市型水害が多発しております。最近ではゲリラ豪雨と呼ばれる猛烈な雨が都市部を襲っています。ゲリラ豪雨により、短時間に地域を限定して集中的に雨量が増大することから、下水処理能力を大幅に超え、道路冠水被害や住宅浸水被害が起こっています。こうした不測

の事態を未然に防止するために、区民の皆様が日頃からゲリラ豪雨の危険について十分に理解することがまず第一と考えます。江東区ではこうしたゲリラ豪雨への対策を分かりやすくまとめ、6月21日号の区報において区民への周知努力をされていますが、つい先日の8月にもゲリラ豪雨が発生して、江東区に大雨・洪水

昨年4月の統一地方選挙では、地元の皆様、業界・団体の皆様、そして神輿総代会の皆様のお引き回しによりまして、初当選の運びと相なりました。議会では建設常任委員会と防災対策特別委員会に所属して、皆様の御用聞きとしての毎日を一所懸命務めさせていただきました。その間、新人ながら9月の第二定例議会でも、みんなの党を代表し本会議においての栄えある代表質問の機会をいただき、精一杯のチャレンジをいたしました。質問内容は日頃からお世話になっております地域の皆様のご意見が、江東区政に届くよう自分なりに考えた内容です。まだまだ未熟で至らぬ点ばかりと存じますが、何卒ご一読いただいて、ご叱声やらお励ましやら何かご意見をお寄せいただければ、身に余る光栄です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年も一年ご**最**のほど、すみからすみまで、**ずず、ずい**と**御願**いたてまつります。





警報が発令されております。このようなゲリラ豪雨が発生した場合、江東区ではどのように情報収集を行い、その結果をどのように区民の皆様様に周知されているのかを、具体的に示していただきたいと思います。



また江東区は、元来地盤が低く「ゼロメートル地帯の水害」という過去の厳しい災害の記憶もあります。区では東京湾高潮対策、内部河川への排水ポンプの整備、さらに江東区独自の施策である歩道の透水塗装や「雨水ます」の増設、加えて大雨浸水ハザードマップの配布など都市型水害対策に取り組んできましたが、一歩進めて今後の都市型集中豪雨への具体的な対策について示していただきたいと思います。

区長の答弁内容の抜粋

ゲリラ豪雨については、現状では降雨直前まで予測が困難なことから、有効な情報提供の時間がなく、区民へ事前に警戒を呼び掛けることは難しいのが現状です。効果的な雨水対策については、現在工事に着手している下水道幹線である江東幹線、大島幹線などの早期完成とともに、地域から幹線下水道に水を集める枝線の機能強化も必要となります。本年度から、下水道枝線再構築事業を進める東京都下水道局と協力して、地域の枝線の再整備を江東区の事業としてしっかりと進めてまいります。



第2番目の質問項目

お年寄りの皆さんや障害を持つ皆さんにやさしい歩道橋のあり方

東 京都が管理している横断歩道橋の大部分は、昭和40年代に整備され、これまで交通安全に貢献してまいりましたが、現状を見ますとほとんど利用されなくなつた横断歩道橋もあるのではないかと考えられます。東京都によりますと、**1**利用者が著しく少ないこと、**2**通学路に指定されていないこと、**3**近傍に横断歩道があることなどの条件を満たす横断歩道橋で、交通管理者（道路の管理者や地元の警察など）、行政（江東区や東京都・国など）、町会との合意が得られた場合は撤去することができるとのことです。

もちろん全ての横断歩道橋を撤去すべきと考えているわけではありません。当然ながら交通安全面から必要な横断歩道橋があることは十分認識しています。その上で、設置から30年以上が経過し、役割を終えた横断歩道橋は、皆さんの合意を得て撤去すべ

きではないかと考えており、また今後は時代のニーズに合わせて改良を進めていくべきではないかと思えます。

まず、安全面という観点から、必要な横断歩道橋については、高齢者の方や、障害を持たれている方の安全性や利便性に配慮すべき



老朽化した永代2丁目の歩道橋